

## 基本情報

### 指標番号

3363

### 名称

周術期予防的抗菌薬の薬剤種類遵守率：心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）

### 分母

心臓デバイス挿入手技（ペースメーカーなど）が行われた症例

### 分子

手術実施日に推奨抗菌薬が投与されている件数

### 指標群

周術期抗菌薬予防投与

### 意義

周術期抗菌薬の適切な使用（薬剤種類：CEZ）をみるプロセス指標

### 年度

2010,2012,2014,2016,2018,2020,2022

### 必要データセット

DPC 様式 1,EF ファイル

## 指標の定義算出方法

### 分母の定義

1. 解析期間に入退院した症例を対象とする。
2. このうち、様式1の手術名1の点数表コードに以下のいずれかが含まれる症例。

診療行為コード	基本漢字名称	Kコード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
150140110	ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）	K5971	○	○	○	○	○	○	○
150140210	ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）	K5972	○	○	○	○	○	○	○
150395350	ペースメーカー移植術（リードレスペースメーカーの場合）	K5973					○	○	○
150303210	両心室ペースメーカー移植術	K598	○	○	○	○	○		
150415110	両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）	K5981						○	○
150415210	両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）	K5982						○	○
150275210	植込型除細動器移植術	K599	○	○	○				
150387410	植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの）	K5991				○	○		

診療行為コード	基本漢字名称	Kコード	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
150383250	植込型除細動器移植術（皮下植込型リードを用いるもの）	K5992				○	○		
150415510	植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）	K5991						○	○
150387410	植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの）	K5992						○	○
150383250	植込型除細動器移植術（皮下植込型リードを用いるもの）	K5992						○	○
150336910	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術	K599-3	○	○	○	○	○		
150415110	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）	K599-31						○	○
150415210	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）	K599-32						○	○

3. このうち、手術実施日の前日（手術日－1）に抗菌薬（注射薬抗菌薬）が投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例は分母から除外する。【抗菌薬（抗真菌・抗ウイルス・抗結核剤などは除く）表】

薬価基準コード7桁	分類名	投与経路	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
611*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
612*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
613*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
614*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
615*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
616[1/9][4/5/6]**	主として抗酸菌に作用するもの	注射	○	○	○	○	○	○	○
619*[4/5/6]**	抗生物質製剤	注射	○	○	○	○	○	○	○
624*[4/5/6]**	化学療法剤	注射	○	○	○	○	○	○	○

4. 調査対象となる一般病棟への入院の有無が「0」の症例を除く

#### 分子の定義

1. 分母条件2「手術点数コード」の実施日にCEZが投与されている（EFファイルの薬剤情報の点数コードに、下記抗菌薬いずれかの薬価基準コード7桁に対応するレセ電コードが含まれる）症例、かつ当該薬剤以外の抗菌薬が同日に投与されていない症例。

薬価基準コード7桁	成分名	推奨抗菌薬	2010	2012	2014	2016	2018	2020	2022
6132401	セファゾリンナトリウム	CEZ			○	○	○	○	○
6132401	セファゾリンナトリウム水和物	CEZ	○	○	○	○	○	○	○

## その他

### 薬剤一覧の出力

はい

### リスク調整因子の条件

### 指標の算出方法

分子÷分母

### 指標の単位

%

### 結果提示時の並び順

降順

### 測定上の限界・解釈上の注意

1. 本指標では様式1の手術1（主要手術）のみを対象とする。
2. 抗菌薬アレルギー患者などに対しては、予防的抗菌薬として推奨抗菌薬以外の抗菌薬が投与され、分子に含まれない可能性がある。
3. 本指標は2016年度のガイドラインを参考に作成しているため、それ以前での算出は経年変化を見るための参考値。
4. SBT/ABPCの供給不足(2018年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。
5. CEZの供給停止(2019年ごろ)がQI値に影響する可能性がある。（代替薬として厚生労働省より通知があり、下記にリンクを添付）

## 参考資料

### 参考値

### 参考資料

1. 術後感染予防抗菌薬適正使用に関するガイドライン作成委員会, 公益社団法人日本化学療法学会/一般社団法人日本外科感染症学会. 術後感染予防抗菌薬適正使用のための実践ガイドライン. 2016.
2. 厚生労働省健康局結核感染症課・医政局経済課からの通知(平成31年3月29日)  
<https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/000498133.pdf>